

# (有)藤橋家姫路夢前農園

姫路市夢前町

委託先：就労継続支援B型事業所

主な作業内容

果実の収穫・害虫駆除、作業場の清掃、電気柵撤去



## 障害者の先入観を持たず、作業の効率化を一緒に考え 従業員と利用者がともに成長し合える関係に



採卵鶏農場で約20万羽の鶏を飼育、鶏糞を使った有機堆肥で飼料米などを育てる耕畜連携の循環型農業を推進する「藤橋家姫路夢前農園」。35haの規模で稲作を行うほか、2020年度から「パッションフルーツ」のハウス栽培事業がスタート。果汁を使ったりキュールなどを商品化しています。

事業領域が拡大するなか、人手が不足する農繁期のルーティン作業を担ってほしいと、2023年に農福連携を導入。まずは農薬不使用有機栽培のパッションフルーツ栽培で悩んでいたカイ

ガラムシの除去作業を兵庫セルフセンターに打診し、手を上げてくれた福祉事業所とインターシップを行いました。葉に付いた小さな虫を丁寧に手作業で取り除く利用者の姿を見て、優秀な人材だと判断し、委託することになりました。作業工程の中でやりにくい場合があれば、指示する側と受ける側、お互いがどうしたら楽しく効率良くできるかを話し合い改善を重ねています。現在は、週2回のペースで清掃・片付けや苗箱洗浄、電気柵の撤去など多様な作業ができるようになり、同農園の貴重な担い手となっています。

## 作業上の工夫点や報酬について

利用者一人ひとりに個性があり、それぞれに得意・苦手な作業があります。「この作業は無理かな」という思い込みをせず、とにかくやってみることで改善点がわかり、どんどん委託する内容が増えました。ハウスでは夏場の扇風機やトイレの設置など、作業環境にも配慮しています。電気柵の撤去など、作業に出来高などの制限をかけずにやってもらう考え方なので、報酬は作業ユニット（利用者3人+支援員1人で1ユニット）単位で時間給を設定しています。



農業事業部の  
吉川雄(きつかわ・ゆう)さん

(2024年2月取材)